

おいらせ町ボランティアセンターだより

ボランティア情報誌

趣旨をご確認され、ご協力をお願いいたします。



今年も【赤い羽根共同募金】運動が始まります!!

第39号 令和6年9月26日発行

編集・発行 社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会

〒039-2222 おいらせ町下前田158-1 地域福祉センターいきいき館内
(TEL)0178-52-7066 (FAX)0178-50-1602

ホームページ



公式Instagram



公式ライン



【赤い羽根共同募金】運動がスタート!!

10月1日（火）より全国一斉に“赤い羽根共同募金”運動が始まります。

共同募金は、自分が住んでいる地域で進められている様々な福祉活動の積極的な支援となることが期待され、地域福祉活動の充実のために欠かすことができない貴重な財源となります。

また、近年では自然災害の発生も多くみられ、災害支援金としても活用されております。

今年度も“じぶんの町を良くする”ため【地域目標額】達成を目指して、関係機関及び奉仕者の協力のもと、戸別募金など様々な募金活動を展開して参ります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



《令和6年度募金目標額》

※次年度活用されます。

おいらせ町の目標額		3,610,000円
内訳	広域目標額	1,510,000円
	地域目標額	2,100,000円

広域目標額…青森県内での民間福祉活動に必要とする金額

地域目標額…おいらせ町内での福祉活動に必要とする金額



共同募金は、使い道が決まっている【計画募金】です。

赤い羽根共同募金は、あらかじめ福祉活動を推進している団体等より助成申請を受け、計画実施に必要な目標額を決めてから行う【計画募金】です。

おいらせ町ではこの目標額を達成するために、皆様から寄付額について問い合わせがあった際は、目安額として500円を提示させていただいております。

共同募金では、様々な募金活動を展開中!!



<戸別募金>



<学校(幼保)募金>



<街頭募金>



今年もやります!! ご当地ピンバッジ募金!!

今年もおいらせ町協力のもと、おいらせ町のイメージキャラクターである【おいらくん】の赤い羽根共同募金ピンバッジを作成しました。

おいらせ町共同募金委員会窓口でピンバッジ募金にご協力いただいた方へお渡しします。(500円で1個進呈)

また、青森県共同募金会の公式ホームページでも特設ページがありますので、そちらもご覧ください。

(青森県共募HP) <https://akaihane-aomori.or.jp>



～皆様からのご寄付は様々な活動に使われます～



例えば、あなたが500円を寄付したとします。

その寄付金は下記のような活動に使われています。

また、寄付金額の3%は災害支援金として積み立てられ、県内での災害はもちろん、全国での災害時の支援金としても活用されます。



《地域で活動している福祉団体等へ…》

地域福祉活動の充実のために、広報活動発行业（社協だより、ボランティア情報誌）や地域で活動している福祉団体（町子ども会や赤十字奉仕団など）への活動支援助成、心配ごと相談事業やフードバンク事業などにも活用されています。



《高齢者の見守り支援や老人クラブ活動支援に…》

老人福祉活動の充実のために、高齢者の見守りを兼ねての年末お弁当の配達や、地域で活動している単位老人クラブへの活動支援助成として活用されています。



《障がい者同士の交流事業や福祉団体支援に…》

障がい者福祉活動の充実のために、障がい者同士の交流事業として「のびのびサロン」開催や地域で活動している町身体障がい者福祉会への活動支援助成として活用されています。



《ひとり親家庭同士の交流や福祉団体支援に…》

母子父子福祉活動の充実のため、ひとり親家庭同士の交流や地域で活動している町母子寡婦福祉会への活動支援助成として活用されています。



《広域の災害に備えて…》 県内全域で活用

集まった募金の3%が、市区町村を越えた広域での活動や災害時の備えのためなどに使われています。

※近年、自然災害の発生が多く、災害ボランティアセンター設置運営費用として活用されています。

《赤い羽根共同募金に関するお問合せはこちら》

〒039-2222 おいらせ町下前田158-1 地域福祉センターいきいき館内

社会福祉法人青森県共同募金会 おいらせ町共同募金委員会

(TEL) 0178-52-7066

(FAX) 0178-50-1602

(ホームページ) ikiiki-oirase@diary.ocn.ne.jp



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

2024児童・生徒夏ぼらんていあ体験学習

1. 目的 夏休み期間を利用して、児童・生徒が町内の各種福祉施設でボランティア体験をしながら、福祉施設やボランティア活動について学習するものです。
2. 主催 社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会
3. 後援 おいらせ町／おいらせ町教育委員会
4. 参加対象 おいらせ町内小中学校8校の児童・生徒
5. 協力施設 社会福祉法人誠友会／社会福祉法人奥入瀬会／医療法人仁泉会／社会福祉法人昭壽会／社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会デイサービスセンター
6. 日程等
 - ・施設体験 期 日：令和6年7月31日（水）～8月7日（水）
場 所：町内の福祉施設
 - ・事後研修 期 日：令和6年8月9日（金）
場 所：みなくる館 ホール

参加学校名	参加人数	体験日	時 間	体験施設名
下田中学校	5名 引率なし	7月31日	10:00 ～ 15:00	グループホームいこいの森 デイサービスセンターいこいの森
百石中学校	8名 引率1名	8月1日	10:00 ～ 15:00	生活介護事業所わくわく
木内々小学校	13名 引率1名	8月2日	10:00 ～ 15:00	おいらせ町社協デイサービスセンター
甲洋小学校	8名 引率1名	8月6日	10:00 ～ 15:00	特養 百石荘／デイサービスセンター たんぼぼ／ケアハウスゆうゆう庵／ 有料ホームあゆみの里
木ノ下小学校	12名 引率1名	8月7日	10:00 ～ 15:00	特養 木崎野荘 デイサービスセンター木崎野
木ノ下中学校	2名 引率1名	8月7日	10:00 ～ 15:00	介護老人保健施設しもだ





下田中学校



百石中学校



木内々小学校



甲洋小学校



木ノ下小学校



木ノ下中学校

「フードバンク事業」 情報

これまで、社協が多くの町民の方からご寄付いただいた食材等は、生活困窮者等へご提供させていただいております。

令和5年度と令和6年度（8/31現在）の実績は下記のとおりです。

年度	食材等のご寄付の件数	食材等を提供した件数
5	19	17
6	10	18

おいらせ町社協では、食材等をご寄付くださる方を募集中！

【受付食材等】

- ・お米（キロ単位で未開封、玄米か市販の白米）・乾物（素麺、パスタ、海藻など）
 - ・缶詰・インスタント、レトルト食品（カレールー、カップ麺など）
 - ・飲料（水、お茶、ジュースなど ※アルコールは受付不可）
- すべて未開封の物に限ります。
○賞味期限が2か月以上のものに限ります。
○生鮮食品や常温保存が出来ないものは受付できません。

【受付・問合せ】

おいらせ町社会福祉協議会 担当：柏崎・對馬

住 所 おいらせ町下前田158-1 いきいき館内

電 話 0178-52-7066

受付時間 8：00～17：00 土・日・祝日・年末年始（12/29～1/4）を除く



今年も「ひとり親世帯支援事業」 実施

※赤い羽根共同募金助成事業

この程社協は、町内に住所を有する高校生以下の子どもと同居しているひとり親世帯を対象に、「先着30世帯様限定企画」として食品等のおすそわけを実施しました。

○予約開始：7月8日（月）～

○受渡期間：7月16日（火）～19日（金）

○食材等のご提供をいただいた企業等：コープフードバンク十和田センター・正福寺・百石モータース・青い森信用金庫おいらせ支店・老健しもだ・マルハン下田店



いきいきサロンで 「避難バッグゲーム」 体験

9月3日（火）、三本木地区のふれあい・いきいきサロンで、「避難バッグゲーム」を体験しました。

ゲームは、2021年に名古屋学院大学の学生が制作したもので、おいらせ町社協が2023年8月に同大学からご寄贈いただいたものです。

災害時に役立つ情報がゲームを楽しみながら得られ1回のゲームで6人から8人が体験でき、プレイ時間も約15分と子供から高齢者まで遊べるように分かりやすく作られています。

当日は、社協職員2名と一緒に参加し、「避難所に何を持っていくか」など個人ごとに必要だと思うアイテムカードを集めながらゲームを楽しみました。

参加者は、「ゲームは、色々な場面に遭遇した時の対処方法や持っていれば助かるアイテムなどを知ることができ、楽しく勉強できました。」や「災害時避難する時には、自分がこれまで考えもなかったいろいろな持ち出し物が必要だと思ったし、ゲームを楽しみながら学ぶことができました。」と感想を述べていました。



夏休み中にデイサービスで 「ボランティア活動」

8月5日～6日の2日間、おいらせ町社協デイサービスセンターで、同町在住の高校3年生馬場美咲さんが、ボランティア活動をしながら、介護職や看護職のお仕事を体験したり、利用者と交流しました。

馬場さんは、青森県立三本木恵拓高等学校動物科学科の生徒で、卒業後は、看護科で学びたいという進路希望があり、今回のボランティア活動につながりました。

デイサービスセンターでのボランティア体験に馬場さんは、「介護現場を直接見ることができとても参考になりました。利用者はやさしく接してくれて楽しかったです。貴重な体験を今後の進路に活かしたいと思います。」と感想を述べていました。

尚、社協では、希望者に「ボランティア活動証明書」を発行しています。



～お知らせ～ 第4回地域ふくし川柳コンクールを開催します。応募対象者は、小学生（4年～6学年）及び中学生・高校生です。応募期間は、10/1～11/29まで。詳しくは、各学校及び町社会福祉協議会へ。

ほがらか教室情報

古くから青森県南部地方につたわる “南部菱刺し”を体験してみませんか？

高齢者の介護予防と生きがいづくりを目的として、老人福祉センターで開催している「ほがらか教室」では、好評につき町民の方を対象とした“南部菱刺し”講座第2弾を下記のとおり行います。

日 時…10月31日（木）、11月14日（木） 13時～14時30分

※両日とも参加できる方

場 所…おいらせ町老人福祉センター

講 師…青森県伝統工芸士 横井 充子さん

内 容…ブローチ又はキーホルダー

※申込時に、どちらかを選んでお知らせ下さい

定 員…6名

材 料 費…500円

申込期限…10月22日（火）まで

※定員になり次第、締め切りとなります

申 込 先…おいらせ町社会福祉協議会（澤頭）TEL0178-52-7066



下 田：リフレッシュで都市伝説系YouTubeを観て未来の可能性におもいを馳せています。

「シンギュラリティ」はもう間もなく笑。

舘 ：最近ようやく、「ジジ」という呼びかけに反応できてきました。

澤 頭：まったく運動をしないので、この秋は体力づくり筋力アップを目指します。

真 石：南海トラフの特別な注意を聞き、電灯のチェックで液漏れ発見。1月の時は何ともなかったのに…電池は外して保管しましょう。

中 野：先月、広報写真についての研修会があった。初心者でも扱いやすいミラーレス一眼を探してみようかな。

柏 崎：～🍷ひらひらと 飛び舞うアゲハ 至福なり🍷～ 日常の何気ないことをちょっぴり俳句風に楽しく詠んでいます🌻（笑）

對 馬：南部の利便性に驚いている津軽出身の新人おばさんです。

社協職員
topics